

# 苫前町げんきの森

留萌支庁林務課・留萌森づくりセンター

苫前町のげんきの森では、町内児童、教師や町関係者20名が参加し、エゾヤマザクラとキタコブシの植樹及び看板設置を行いました。また、地域の幼児教育に携わっている講師から「森と動物の関係」に関するお話を聞きました。



ナナカマド  
(苫前町の木)

と き:平成21年9月28日(月)

と ころ:苫前町「げんきの森」

〔旧力屋小学校敷地〕

参加者:古丹別小1学年 10名ほか

内 容:植樹、看板設置、森林教室

面 積:0.8771ha

## 設定記念事業

### 〔植樹〕

### 〔看板設置〕

### 〔ワークショップ〕



## 記念植樹

○植栽樹種(本数) ①エゾヤマザクラ(10本) ②キタコブシ(10本)

平成21年度、苫前町「げんきの森」設定に伴い、古丹別小児童(1学年)、担任教師や地元役場職員などの参加により植樹を行いました。

児童たちは、大人の指導のもとエゾヤマザクラ(写真右上:支柱付き)とキタコブシそれぞれの苗木を所定の植穴に入れ、丁寧に土を埋め戻し踏み固める作業を行いました。普段、使い慣れないスコップの扱いに苦労しましたが、植えた苗木が「元気に育つといい。」と、植樹後の感想を話してくれました。



## ワークショップ

### ○森の写真集の読み聞かせ ○ネイチャーゲーム(ノアのはこぶね)等



#### ○森の写真集の読み聞かせ

ワークショップは地域の公民館内にて、児童へ本を読み聞かせ、森の素材を活用したクラフト制作やネイチャーゲームを行いました。

講師は、読み聞かせのボランティアグループに所属し、留萌管内での図書館活動、子育て支援事業、幼稚園や小学校等に出向き活動している安藤厚子さん(留萌市在住)を招き、植樹活動に参加した児童たちに、森の写真集(森のいのち:著者は小寺卓矢)の読み聞かせを行いました。

#### ○クラフト制作

シラカンバやミズナラなどの小枝(太さ8ミリメートル、長さ5~6センチメートル)を利用したクラフト制作を行いました。児童たちは、森づくりセンターで用意した小枝の一つを選び、木口面にピーカンを差し込み、そのピーカンに‘ひも’を通して完成。という、オリジナル「ペンダント」づくりに挑戦し、他にはない首飾りに喜んでいました。



#### ○ネイチャーゲーム(ノアのはこぶね)

講師が、児童たちに「ノアのはこぶね」を読み聞かせた後にゲームに入りました。

同じ動物が描かれた絵札二枚が床に置かれ、進行役のスタート合図とともに、児童たちは一斉に床のカードを拾います。ペンギンやカラスなどが描かれた動物の鳴き声や仕草などを真似て同じカードを拾った児童を捜します。一回目のゲームでは、戸惑いもあり遠慮していた児童たちでしたが、二回目のゲームでは全員が早々と正解し、拾ったカードに描かれたラッコのジェスチャーを、皆の前で堂々と演じて拍手を浴びました。

